

家畜伝染病を **持ち込まない** **持ち出さない** **拡げない** ために

防疫マニュアル



J Aグループ職員向けに、家畜伝染病を拡げないために注意すべき点をまとめた「防疫マニュアル」を作成しました。ご紹介した防疫マニュアルの冊子、リーフレットのデータはダウンロードいただけます。また、消毒薬や消毒方法について、動画で分かりやすく紹介しています。

JACCネット 防疫マニュアル 🔍 検索

■リーフレット「防疫マニュアル」

A4サイズ
三つ折り

■動画「防疫対策の基礎知識」



〈公開動画〉

車両消毒編、踏み込み消毒槽(長靴編・革靴編)、消毒薬(ロンテクト)の希釈の仕方、ピネパワーの希釈の仕方、消石灰消毒編、衣類洗濯編などがあります

■冊子『飼養衛生管理基準ガイドブック(豚、いのしし編)』



日本語版

英語版

ベトナム語版

冊子中面イメージ(日本語版)



防疫研修会 (JA 愛知みなみ)

家畜衛生研究所の各クリニック分室では、生産者・JA等と連携して防疫研修会を実施しています。今後も引き続き、地域の皆さまと連携して、家畜疾病発生防止に向けて防疫研修会を実施していきます。

防疫研修会の実施

「飼養衛生管理基準ガイドブック」は、畜産生産部ホームページ・JACCネットから自由にダウンロードできるようにしていますので、畜産農場で働く方のみならず、広く関係者の方々に活用していただきたいと思います。

全力結集

全力結集で挑戦し、
未来を創る

2018年9月に26年ぶりの発生が確認された豚熱(CSF)や、2020年11月以降、猛威を振るった高病原性鳥インフルエンザ。これらの重大疾病を防ぐために、JAグループでは家畜防疫の重要性を周知する取り組みを実施しています。

全農畜産生産部推進・商品開発課



家畜防疫啓発用ポスター

防疫の重要性と3原則

「防疫」とは伝染病を予防するという意味です。私たちはインフルエンザにかからないよう、予防接種やマスクの着用、手洗いなどで予防します。また病気にかかったとしても、薬で治療をします。しかし、家畜・家さんの場合、一度、家畜伝染病(法定伝染病)にかかると薬による治療はほぼ行われず、殺処分されます。そのため、病気にかからないための防疫が重要です。

防疫の原則には「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」があります。しかし、ウイルスや細菌などの病原体は目に見えません。従って、見えないものが存在するリスクがある事を認識して、防疫措置を講じる必要があります。究極の防疫措置は、「ヒト」「車両」「野生動物」「家畜」などを移動させない事かもしれませんが、それでは経済活動はできません。経済活動の制限を極力少くした「遮断」「交差防止」「消毒・除菌」などの防疫措置を講じて、「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」が

防疫マニュアルと飼養衛生管理基準ガイドブック

J Aグループの職員・社員は、日頃から畜産農場へ出入りする機会が多くあります。そのため、私たちが最低限知るべき事を「防疫マニュアル」としてまとめています。また、具体的に車両消毒などのやり方を紹介する動画「防疫対策の基礎知識」を製作し公開しています。

また、豚熱の感染拡大防止やアフリカ豚熱の発生予防に向け、飼養衛生管理の早急な強化等を図るために、2020年1月にJAグループCSF・ASF対策協議会を設置し、改正された飼養衛生管理基準を解説するためのガイドブックを農林水産省と作成いたしました。『飼養衛生管理基準ガイドブック』は、分かりやすくするためマンガ仕立てにし、日本語だけでなく英語・ベトナム語版も作成いたしました。これらの「防疫マニュアル」や動画「防疫対策の基礎知識」

「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」が必要で